

日本の近代戯曲を読む!

◎日本の近代戯曲研修セミナー



菊谷 栄

Sakae Kikuya (1902~1937)

喜劇作家。画家。青森県出身。中学時代から油絵を描き始め、東京美術学校を受験するも失敗。青森の営林局で働いていたが、一年で退職、上京し、日本大学法文学部文学科および、川端康成校へ入学。浅草六区に通っていた折、榎本健一と知り合い、舞台装置を担当しながら、「佐藤文雄」名義で作品を発表。



菊田一夫

Kazuo Kikuta (1908~1973)

劇作家。演出家。生後まもなく養子に出され、転々と他人の家で養育される。5歳の時に菊田家の養子になり小学校に入学するも、12歳の時、学業半ばで神戸の薬問屋に丁稚奉公に出される。知的上昇志向が報われない想いを詩で慰めようと自由詩作を始める。1925年上京。印刷工として働きながら詩作を続け、1927年にはサトウハチローの食客となり、サトウの紹介で浅草国際劇場の文芸部に入り、

1931年には、榎本健一が歌手の二村定一と付き作家として迎えられる。同年、榎本原案で発表された「悲涙血涙 別離の門出」は、翌年の浅草松竹座上演以降「最後の伝令」と改題されエノケンの代表作の一つになった。オペレッタ「リオ・リタ」「リリオム」やレヴュウ「民謡六平次」など、幅広い作品を次々に発表。高い評価を得るが、1937年9月に召集を受け入隊。同年11月に中国で戦闘中、頭部貫通銃創のため戦死。34歳没。彼の提唱した「作劇十則」は井上ひさしに大きな影響を与える。三谷幸喜の「笑いの大戦」に登場する主人公の一人「椿一」は菊谷をモデルにしている。短い生涯ながらも、その作品群、足跡が後世の演劇人に及ぼした影響は多大である。

榎本健一らが活躍していた集団「アバ・ダンサント」にて作家デビュー。多くの作品を発表、上演。1933年、古川緑波らにより旗揚げされた「笑の王国」の座付き作家となる。1934年代表作「花咲く港」帝劇で初演。劇団が東宝の所属になった事に伴い、菊田も東宝文芸部の主力として活動し、戦後には作曲家の古閑裕而とコンビを組み、ラジオドラマ「鐘の鳴る丘」「君の名は」シリーズ、舞台「がんばれ」「放浪記」「風と共に去りぬ」といった数々のヒット作を世に送り出した。1955年、東宝の取締役就任。取締としての仕事のかたわら、映画や舞台の原作、脚本、演出をはじめ、小説の執筆も精力的にを行い、更には日本で初めてブロードウェイミュージカルの上演権を獲得するなど、その活躍は枚挙にいとまない。1973年、数年患っていた糖尿病に脳卒中を併発し死去。

平島高文（ひらしま・たかふみ）

元日本芸術文化振興会理事／東京喜劇研究会同人

1933(S8)年生まれ。福岡県出身。1957(S32)年東大国文科卒。榎本健一に文芸部見習いの付人として師事。58(S33)年頃より榎本主催の俳優養成所映画演劇研究会及び榎本所属の映画プロの事務員、併せて日本喜劇人協会事務局長を兼務。65(S40)年4月より国立劇場設立準備室に、66(S41)年7月国立劇場設立され職員として採用される。芸能部、総務部、事業部を経て、1983(S58)年10月より国立文楽劇場開場(S59.3)のため、1994(H6)年11月まで支配人として大阪に赴任。同年12月より1999(H11)年3月まで振興会理事に就任。退職直後より2008(H20)年3月まで財團法人振興会理事長就任。2003(H15)年11月号から12(H24)年2月号まで文芸広場誌に「エノケン・菊谷栄が見た夢」を連載。08(H20)年浅草21世紀木馬亭公演エノケン・菊谷栄競作「最後の伝令」の台本を補綴。

9/15
シンポジウム
パネリスト

井上理恵（いのうえ・よしえ）

9/16
シンポジウム
パネリスト

東京生まれ。早稲田大学大学院文学研究科修了。近現代演劇研究。吉備国際大学教授(1995~2010)、ロンドン大学SOASヴィジティング・フェロー(1997)、日本近代演劇史研究会代表(2010~)、日本演劇学会副会長(2006~)。現在白百合女子大学・桐朋学園芸術短期大学で演劇学を講義している。著書:『久保栄の世界』、『近代演劇の扇を開ける』(第32回河竹賞受賞)、『ドラマ解説』、『菊田一夫の仕事 浅草・日比谷・宝塚』(以上社会評論社)。共著:『20世紀の戯曲』全3巻(社会評論社)、『岸田國士の世界』(翰林書房)、『20世紀のベストセラーを読み解く』、『樋口一葉を読み直す』(以上学芸書林)、『有島武郎叢書』(右文書院)、『家族の肖像』(村山知義)、『劇の尖端』(以上森話社)ほか多数。現在雑誌『アートロ』に「村山知義の演劇史」を連載中。演劇批評のブログ「井上理恵の演劇時評」公開中。

くお申込み方法> ※小さな会場ですのであらかじめご予約ください。

◎「お名前・枚数・ご連絡先」をご明記の上、郵送又はファックスでお申し込み下さい。

◎メールでご予約の際は、件名を「チケット予約」とし、本文に「お名前・枚数・ご連絡先」をご明記の上お申し込みください。予約完了メールが届いた時点で予約完了となります。

くお申込み・お問合せ先>

日本演出者協会 担当:佐々木治己/大竹宏枝

〒160-0023 東京都新宿区西新宿6-12-30 芸能花伝舎3F

TEL: 03-5909-3074 FAX: 03-5909-3075

専用メールアドレス: kindaiigikyoku@yahoo.co.jp

※受付開始、開場は開演の30分前です。

※受付は開演の5分前までにお済ませください。5分前を過ぎますとご予約を頂いてもお席をご用意できない場合があります。

芸能花伝舎

◎東京メトロ丸ノ内線「西新宿」出口2より徒歩7分

東京都新宿区西新宿6-12-30
TEL: 03-5909-3066

